

レジノイド精密切断砥石・成分表、安全シート

1. 製品及び会社情報

製 品 名：レジノイド精密極薄切断砥石
用途と使用上の制限：主に金属などの切断
会 社 名：柳瀬株式会社
住 所：〒669-3131 兵庫県丹波市山南町谷川1385
電 話 番 号：0297-27-5858
F A X 番 号：0297-24-5333
作 成 日：2006年9月20日
変 更 日：2026年9月30日
整 理 番 号：MSDS-Z040

2. 危険有害性の要約

G H S 分類：特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分1（吸入・肺）

G H S ラベル要素：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（吸入・肺）

健康に対する有害性：

（過剰露出による痛みの影響）粉じんは目および呼吸器に炎症をおこさせる原因となりうる。粉じんの微粒子は目に対する砥粒傷のもととなりうる。

（慢性的過剰露出の影響）呼吸可能な粉じんに長期にわたり過剰露出されると、せき、呼吸が短くなったり呼吸量が減少したりする兆候をともなう肺機能傷害（繊維症）の原因となりうる。作業中に高い音のレベルに長時間にわたりさらされると、聴力に影響を及ぼす可能性がある。大部分の場合最も危険なのは、被削材の素材、塗料、コーティングからくる粉じんにさらされること。切断中発生する粉じんの多くは元の被削材であり、この露出からの起こりうる危険性が最も高い。

露出により悪化される医学上の病名：慢性呼吸疾患

露出の主な経路：吸入

発がん性物質：O S H A、N T O、I A R Cによって発がん性物質、発がん性と疑われる物質としてリストアップされる物質は含まれていない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学式または構造式：混合物のため特定できず

成分および含有量：研磨剤（アランダム系研磨剤）65% ～ 75%

結合剤（フェノールレジン）15% ～ 25%

充填剤（クレオライト等）5% ～ 10%

4. 応急措置

<吸入した場合>

研削時に発生する粉じんを吸入した場合、直ちに空気の新鮮な場所に移り、必要ならば医師の手当てを受ける。

<皮膚に付着した場合>

水道水と必要により中性洗剤を使用し洗浄する。

<目に入った場合>

まぶたを開けたまま、水で完全に目を洗うこと。炎症が残る場合には医者に手当てを受ける。目の中にある異物については直ちに医者の手当てを受ける。

<飲み込んだ場合>

研削時に発生する粉じんを飲み込んだときには、医者による手当てを受ける。

5. 火災時の措置

発火点：なし

消化手段：火の状況に対して適切であるどんな手段でもよい。特殊な消化方法は特に必要なし。

通常の火災、爆発の危険：この製品は可燃性ではない。しかし、作業中に素材から発生する火災、爆発の危険性は考えられる。多くの素材は、機械作業・研削作業のとき可燃性・爆発性粉じんを発生させる。

危険性・可燃性物質：可燃性ではない。

6. 漏出時の措置

拾い上げ、掃いてまたは掃除機で吸い込んで廃棄箱に入れる。粉じんの発生を最少限にする。

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い上の注意事項>

技術的対策：決められた安全装置（例：保護カバー）を具備すること。

局所排気・全体排気：作業中に粉じんが発生するので、局所排気または全体排気を行うこと。「安全の手引き」の使用、注意・保護に対する安全要求を参照する。

<保管>

技術的対策：「安全の手引き」に従って整理棚を設け保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

<管理濃度> 3.0 mg / m³

労働安全衛生法

<許容濃度> 第1種粉じん 吸入性粉じん = 0.5 mg / m³ 総粉じん = 2.0 mg / m³日本産業衛生学会

<設備対策> 粉じん対策として集じん装置を設けること又は必要に応じて全体排気を行うこと。

<保護具> もし露出限度を越えまたは粉じんの露出が過度であった場合には、作業者は必ず次の保護具を着用すること。

呼吸器の保護：国家検定に合格した防じんマスク。

手の保護具：耐火花性のある手袋。

目の保護具：完全防護形の防じん眼鏡。

保護衣：耐火花性のある材質の作業衣を着用。

その他：防音耳栓、ヘルメット、保安靴等。

9. 物理的及び化学的性質

製品の外観（物理的状態、形状、色など）：固型円盤状、深灰色

臭い：無臭

凝固点、沸点、融点、初留点及び沸騰範囲：適用外

引火点、自然発火温度：適用外

燃焼又は爆発範囲の上限、下限：適用外蒸

気圧、蒸気密度：適用外

比重（相対密度）：適用外

溶解度：適用外

10. 安定性及び反応

性混融危険物：なし

危険有害な分解生成物：なし

11. 有害性情報

切断作業時に発生する粉じんを長期間にわたり吸入すると、じん肺になるおそれがある。

12. 環境影響情報

切断作業時に粉じんとして少量排出される。

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

行政の許可を受けた産業廃棄物業者に、内容を明確にして処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- < 国際規制 > 海上規制情報：非危険物
 航空規制情報：非危険物
- < 国内規制 > 陸上規制情報：規制なし
 海上規制情報：非危険物航空規制情報：非危険物

15. 適用法令

労働安全衛生法
粉じん障害防止規則
研削盤等構造規格
化学物質排出把握管理促進法
水質汚濁防止法
土壌汚染対策法
大気汚染防止法

16. その他の情報

< 参考文献 >

- ・ グラインダー安全必携
- ・ JIS Z 7253 : 2019 (GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS))
- ・ 事業者向け GHS 分類ガイダンス (令和元年度改訂版 (Ver. 2.0))
- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 9 版
- ・ 化学物質総合情報提供システム
- ・ 許容濃度等の勧告 (2022 年度)

物質の特性値は保証値ではありません。危険、有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報等に基づいて作成しておりますが、取り扱いには充分注意してください。